



新日吉神宮に遺された資料から、江戸時代中期の歌人・小沢蘆庵の文事と交流を紐解く

「第一回 蘆庵文庫セミナー」開催

2025年12月14日(日)13:30～16:00／京都女子大学 東山キャンパス E校舎 E004講義室

※受講者募集 定員100名（先着・受講無料）

京都女子大学（所在：京都市東山区/学長：竹安栄子）は、江戸時代中期の歌人・小沢蘆庵に関する研究成果を公開する「第一回 蘆庵文庫セミナー」を、2025年12月14日（日）13:30より、東山キャンパスにて開催します。また本セミナーの受講者100名（先着）を、12月5日（金）まで募集中です。

■江戸時代中期の歌人・小沢蘆庵（おざわろあん）は、「ただごと歌」を普及した「平安和歌四天王」の一人。

江戸時代中期の歌人・小沢蘆庵（1723〔享保8〕年～1801〔享和元〕年）は、大坂の武士の家に生まれ、京都の公家に仕え、慈延、澄月、伴蒿蹊とともに「平安和歌四天王」の一人と称されました。妙法院宮真仁法親王（しんにんほうしんのう）や本居宣長、上田秋成らとの交遊でも知られ、それまでの雅な和歌とは異なり日常の身近なことや心で思っていることを言葉にした「ただごと歌」を広めた歌人です。

京都女子大学に近い新日吉神宮（いまひえじんぐう）には、蘆庵の門人であった神官の藤島宗順（ふじしまむねのぶ）のもとへ持ち込まれた貴重な資料が「蘆庵文庫」として伝わっており、宗順が蘆庵をはじめ京都の文化人らと交わした書簡、蘆庵から和歌の添削を受けた「詠草」（和歌の草案）などが残っています。

■小沢蘆庵ゆかりの新日吉神宮から、京都女子大学へ貴重資料 1600 点が寄贈され、研究がスタート。

国文学研究資料館による蘆庵文庫の文献資料調査は1990年から開始され、2009年に『蘆庵文庫 目録と資料』が刊行されました。2015年に新日吉神宮・藤島家より、今回の共同研究代表者である国文学科・大谷俊太教授が所属する京都女子大学図書館へ約1600点の資料（文書・書状・日記・詠草など）が寄贈されました。そして2025年度より、国文学研究資料館との共同研究「京都女子大学蘆庵文庫の研究」がスタートしました。2026年4月には新日吉神宮社務所にて没後225年記念展示を開催し、2027年度に蘆庵文庫全体の目録の完成を目指しています。

■新日吉神宮に遺された資料から、3 人の研究者が小沢蘆庵の文事と交流を紐解く。

国文学研究資料館と共催で開催する「第一回 蘆庵文庫セミナー」では、蘆庵文庫研究会で共同研究を行う3人の研究者が講演を行います。

◎「小沢蘆庵の人となり-書簡資料にみる「例の癩癩」」 名古屋大学 加藤弓枝 准教授

蘆庵の和歌の弟子であり支援者であった京都の三井家の人々を破門した際の手紙を公開。自らの考えを譲らなかった蘆庵の厳しくも高潔な人柄を紹介します。

◎「天明大火と蘆庵」 国文学研究資料館 山本和明 教授

1788〔天明8〕年の天明大火で焼け出された蘆庵は、新日吉神宮の藤島宗順へ焼け残った資料を預けました。その際に書籍を入れて背負った笈や上田秋成が天明大火について書き記した文書も残っており、これらについて解説します。

◎「妙法院宮真仁法親王文化圏のなかの小沢蘆庵」 大阪大学 飯倉洋一 名誉教授

神仏混合だった江戸時代は、妙法院の門跡が新日吉神宮の別当を兼ねていました。光格天皇の兄にあたる真仁法親王は文化的な関心が高く、円山応挙や上田秋成らを集めて妙法院で文化サロンを作っていました。蘆庵は真仁法親王の歌の添削もしており、厚い信頼を得ていました。

【報道関係のお問い合わせ先】

京都女子大学広報デスク（プランニング・ボード内） 福嶋・井上 TEL：06-4391-7156

京都女子大学 入試広報課 岡橋・竹縄 TEL：075-531-7054

京都女子大学HP <https://www.kyoto-wu.ac.jp/>

【一般の方からのお問い合わせ先】

京都女子大学 入試広報課 TEL：075-531-7054 E-mail：nyuushi@kyoto-wu.ac.jp

※会場準備の都合上、当日ご取材いただける方は、12月12日（金）17時までに添付の返信用紙もしくはメール・お電話にて上記広報デスクまでご連絡願います。

開催概要

- 名 称 第一回 蘆庵文庫セミナー
- 日 時 2025年12月14日（日）13:30～16:00（開場13:00）
- 会 場 京都女子大学東山キャンパス E校舎地下1階 E004講義室
（京都市東山区今熊野北日吉町35）
・JR・近鉄「京都」駅から、市バス206系統・208系統で約10分、「東山七条」下車、東へ徒歩約5分。
・京都駅八条口から、プリンセスラインバスで約10分、「京都女子大学前」で下車。
・京阪「七条」駅から、プリンセスラインバスで約5分、「京都女子大学前」で下車。
- 主 催 京都女子大学
- 共 催 国文学研究資料館
- スケジュール 13:30 挨拶 大谷俊太 京都女子大学教授・共同研究代表
13:35 ～ 14:20 「小沢蘆庵の人となり-書簡資料にみる「例の癩癩」」
講師：加藤弓枝（名古屋大学准教授）
14:25 ～ 15:10 「天明大火と蘆庵」
講師：山本和明（国文学研究資料館教授）
15:15 ～ 16:00 「妙法院宮真仁法親王文化圏のなかの小沢蘆庵」
講師：飯倉洋一（大阪大学名誉教授）
16:00 閉会
※司会：京都女子大学 文学部 国文学科 野澤真樹准教授

《募集要項》

- 定 員 100名（※先着順）
- 応募方法 上記いずれかの方法でお申し込みください。
①Eメール bunko.seminar@nijl.ac.jp
②ウェブフォーム
<https://x.gd/qSuwG>
- Eメールの場合、タイトルを「蘆庵文庫セミナー申込」とし、
本文に氏名、氏名ヨミ、メールアドレス、電話番号を記入し送信ください。
後日Eメールにて受講票を送付いたします。
ご記入いただいた個人情報は当行事運営のためのみに使用します。
- 応募締め切り 2026年12月5日（金）17：00

【返信先】FAX:06-4393-8216 もしくは、fukushima@planning-boat.com

京都女子大学 広報デスク（プランニング・ボート内） 福嶋・井上 宛

新日吉神宮に遺された資料から、江戸時代中期の歌人・小沢蘆庵の文事と交流を紐解く

「第一回 蘆庵文庫セミナー」開催

2025年12月14日(日)13:30～16:00／京都女子大学 東山キャンパス E校舎 E004講義室

※受講者募集 定員100名（先着・受講無料）

□ご取材

| | | |
|---------|--------------------------------|-----------|
| 媒体名 | | |
| 御社名 | | |
| 部署名 | | |
| ご芳名 | 他 _____ 名様 | |
| | (ムービー) _____ 台／ (スチール) _____ 台 | |
| 連絡先 | TEL _____ | FAX _____ |
| | E-Mail _____ | |
| 当日のご連絡先 | TEL _____ | |

《備考欄》 ご取材につきご要望・ご質問等ございましたら、ご記入願います。

※会場準備の都合上、当日ご取材いただける方は、12月12日（金）17時までに添付の返信用紙
もしくはメール・お電話にて上記広報デスクまでご連絡願います。